

協定校への留学  
留学報告 2018～21

 愛知県立芸術大学

## 目次

ロンドン芸術大学(イギリス) 谷崎壮太郎さん	1
ケルン音楽大学(ドイツ) 牧野葵さん	3
ケルン音楽大学(ドイツ) 吉田まつりさん	4
ハンブルク音楽大学(ドイツ) 坂口仁菜さん	6
リスト音楽院(ハンガリー) 萩賢輔さん	8

# ロンドン芸術大学（イギリス）留学報告

美術研究科博士前期課程 彫刻領域 谷崎壮太郎さん

留学期間 2018年10月～2019年2月

## 1 大学について

### ① 全体として

都会にあります。施設も先進的です。生徒も先生も優しくて協力的なので、コンセプトと作品のイメージがしっかりできていれば、自分の技術がなくても勝手に作品ができていくのではないかなと思います。

### ② 授業・カリキュラムについて

アーティストとしてやっていくための講義が多く、先生との一対一での話し合いや、他の生徒の前でのプレゼンテーションも多いです。また、いろいろな人を呼んでの講義も多く、選択で様々な技術を学ぶ授業も取れます。

### ③ 言語について

当たり前ですが、みんな英語を話します。読み書きはそれなりに対応できましたが、話したり聞いたり苦戦したので、プレゼンや話し合いの前には図や文章を毎回用意して行きました。

### ④ 留学生に対する大学からのサポートについて

最初の諸々の手続きや説明は担当の方が付き添ってやってくれますが、その後は普通の学生の一人として対応してくれます。また、コースとは別に、7、8人の留学生のグループに先生がついてくれます。

## 2 生活について

### ① 滞在都市の環境・様子

都会ですが、それほど綺麗でもなく、ホームレスもたくさんいました。下宿先がロンドンでも少し田舎の方だったので、静かで安全でした。

### ② 注意すべき点

特に危険な目には合わなかったのですが、シェアメイトがスマホをスられていたので、人混みなどは注意が必要です。外食や交通費、家賃が高いのにも注意です。

### ③ 加入した保険について

ジェイアイ傷害火災保険のイギリス留学向け保険に入っていました。無事に何も使わずに済みました。

### ④ 滞在先について

家賃が安かったので大学からは 40 分くらいかかる二畳のシェアフラットに住んでいました。ネットや光熱費が全込みで月約五万円でした。

### ⑤ 留学費用について

かなり節約生活をして、全部で 110 万円くらい使いました。別の国にも行ったり、本をかなり買ったので、それがなければもっと安くなります。

### ⑥ 滞在許可（査証）取得について（注意点、苦労したこと等）

6ヶ月の学生ビザだったので特に何もありません。留学生だと言えば、問題なくもらえました。

# ケルン音楽大学（ドイツ）留学報告

音楽研究科博士前期課程 弦楽器領域 牧野葵さん

留学期間 2019年9月～2020年3月

## 1 大学について

### ① 全体として

大学は明るく温かい雰囲気、学生同士切磋琢磨しながら過ごすことのできる環境でした。

### ② 授業・カリキュラムについて

週1、2回の個人レッスン、週1回のオーケストラ授業、隔週に1回の室内楽の授業を受講していました。

### ③ 言語について

留学中は、週に4回語学学校に通い、語学力を高めました。

### ④ 留学生に対する大学からのサポートについて

メールや対面での手厚いサポートをして下さいました。

## 2 生活について

### ① 滞在都市の環境・様子

アーヘンは落ち着いた街である印象があり、緑も多く、生活のしやすい環境でした。

### ② 注意すべき点

アーヘン中心街は、スリに遭うなど治安の悪い場所もあります。

### ③ 加入した保険について

ケアコンセプトと学研災付帯海外留学保険に加入しました。

### ④ 滞在先について

大学からバスで10分程度のWGに、ドイツ人とモンゴル人の3人で住んでいました。

### ⑤ 滞在許可（査証）取得について（注意点、苦労したこと等）

仮ビザから滞在許可を取得するまでわりとスムーズでしたが、時期的に混雑する時期でしたので、予約が取りにくかったです。

# ケルン音楽大学（ドイツ）留学報告

音楽研究科博士前期課程 鍵盤楽器領域 吉田まつりさん

留学期間 2019年9月～2021年7月

※新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、一時帰国、その後再渡航し、留学継続

## 1 大学について

### ① 全体として

大規模な大学で刺激的です。また、留学生が多く、国際色が豊かです。

### ② 授業・カリキュラムについて

専門的で少人数に絞った授業が多く、学内演奏会や講習会など多彩なプログラムもあります。

### ③ 言語について

授業、学内の掲示物やメールはほぼ全てドイツ語のみですが、学生や事務の方のほとんどが英語を話せるため、英語での相談が可能です。

### ④ 留学生に対する大学からのサポートについて

インターナショナルオフィスにて分からないことを質問することができます。

## 2 生活について

### ① 滞在都市の環境・様子

都会で住みやすく、また、外国人が多く、開放的な雰囲気です。

### ② 注意すべき点

中央駅、ホーエ通りなど犯罪が多いとされている地域もあります。

### ③ 加入した保険について

ケアコンセプト（ケアカレッジ保険プレミアムプラン）に加入しました。内容が手厚く、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で予定より早く帰国した際、返金対応をしてくれました。

### ④ 滞在先について

都市部から離れた郊外に間借りしていました。

## ⑤ 留学費用について

年額約 135 万円の資金証明が必要でしたが、ひと月の生活費は、550€（約 7 万円）ほどで生活できました。

## ⑥ 滞在許可（査証）取得について（注意点、苦労したこと等）

手続き完了まで 4 ヶ月ほどかかりました。メールの返信が遅いので、ただ待つのではなく、何度も催促のメールをするとよいです。

## ⑦ その他

トラブルに備えて、パスポートのコピーを取っておいたり、重要な電話番号を控えておいた方がよいです。

# ハンブルク音楽大学（ドイツ）留学報告

音楽研究科博士前期課程 鍵盤楽器領域 坂口仁菜さん

留学期間 2018年4月～2019年3月

## 1 大学について

### ① 全体として

学校の前は、緑溢れる公園とアルスター湖があり、学校の周りは、高級住宅街なので治安も良く安心して勉強することができました。学校内も、白色で統一されとても綺麗で、練習室レッスン室全てにグランドピアノが備え付けられています。練習室は、最高一人6時間予約可能でした。防音環境もしっかり備わっていたので、音楽を学ぶ上で、困ることは何もなかったです。

### ② 授業・カリキュラムについて

前期は、週に一度1時間から1時間半の個人レッスンがありました。後期は、2週間に一回の1時間半の個人レッスンに加えて、2週間に一回のグループレッスンがありました。グループレッスンとは、コンクールや本番を控えている生徒が、門下生の前で演奏し、その演奏に対して、皆でディスカッションし合うというレッスンでした。時には意見が食い違う時もあり、門下生の音楽に対する熱意にとっても刺激を受けました。レッスン以外にも、音楽史など自由に聴講することが出来ました。

### ③ 言語について

基本的に、ドイツ語でした。

### ④ 留学生に対する大学からのサポートについて

分からないことがあると、交換留学生の事務局で丁寧に教えて頂きました。



## 2 生活について

### ① 滞在都市の環境・様子

ハンブルクは、緑溢れる綺麗な街で、治安も良く、安心して暮らせる街です。年中雨が降る日が多く、気温変化が激しいので、服装を考えるのがとても大変でした。

### ② 注意すべき点

中央駅やレイパンバーンは、ホームレスの方や薬物をしている人が多く、早朝や夜一人で出かけるのは、避けた方がいいと思います。また、クリスマスシーズンになると、観光客でとても賑わうので、スリなどには気をつけた方がいいと思います。

### ③ 加入した保険について

Care Concept に加入しました。簡単に入ることができるので、オススメです。

### ④ 滞在先について

初めの2ヶ月は、語学学校の寮に入り、その後は、グランドピアノを置くことが可能なアパートに引っ越しました。

### ⑤ 留学費用について

残念ながら、ハンブルクの物価は安くないです。交換留学生は、ゼメスターチケットの購入は許されていないので、定期券を月約80€で購入しなければなりません。

### ⑥ 滞在許可（査証）取得について（注意点、苦労したこと等）

学生ビザでは、必要な書類が揃っていれば困ることはないかと思います。

# リスト音楽院留学報告

氏 名 萩 賢輔

留学期間 2018年8月～2019年6月

## 1 大学について

### ① 全体として

ハンガリーのブダペスト市内にあるリスト音楽院は、1875年にフランツ・リストによって創立され、バルトークやコダーイ、リゲティ、ショルティといった著名な音楽家を数多く輩出しています。リスト音楽院では3年制の学士(BA)、2年制の修士(MA)そして3年制の博士課程(PhDまたはDLA)が開設されており、クラシック音楽をはじめ教会音楽、民族音楽、ジャズなどの幅広い分野を専攻することができます。非正規の課程では non degree students と guest students があり、どちらも1年の課程となりますが、協定校の学生が利用できる guest students では、授業料の割引があるほか、各ゼメスターにつき1回、正規課程の学生と同様に実技試験を受けることができます。

### ② 授業・カリキュラムについて

専攻によって多少の違いはありますが、自身の場合は担当の先生が2人いて、それぞれの先生のレッスンが週1回、合わせて週2回ピアノのレッスンがあるという仕組みでした。1年間の授業は春ゼメスターと秋ゼメスターの2学期制で、各期末には正規課程の学生と同様の実技試験を受けます。実技試験は基本的には自由曲ですが、幅広い時代の音楽を演奏することを推奨されます。専攻のレッスン以外にも、語学の授業や室内楽、演奏家のための体操など様々な授業があります。非正規の場合は、1つの科目ごとに授業料(1ゼメスター分)が設定されており、授業を取った分だけお金がかかるという仕組みですが、協定校留学の学生は10%の割引があります。学校には伝統的なホールがあり、毎日のようにコンサートが行われていますが、学生は事前に予約をすれば無料でコンサートを鑑賞できます。練習室は本館とは別の建物にあり、インターネットから予約できます。練習室のピアノの質はあまり良くないですが、朝6時から夜0時までの範囲で、1日4時間利用できます。

### ③ 言語について

基本的に、外国人へのレッスンや授業では英語が使用されます。先生方はわかりやすい英語で話して下さるので心配する必要はないです。学務課には日本語を話せるスタッフがいるので、授業や色々な相談も問題なく行えます。ただ、正規課程での入学を志すならば、ハンガリー語の習得が必要となります。また、ブダペスト市内ではどこでも英語が通じ、ほとんどのハンガリー人は英語が話せます。

### ④ 留学生に対する大学からのサポートについて

国際交流課では、各協定校と連携を取り、留学を希望する学生や、現地の留学生に向けて最新の情報を発信、提供しています。また、割安で加入できる留学保険の紹介もあります。

## 2 生活について

### ① 滞在都市の環境・様子

ブダペストはドナウ川を中心に多くの歴史的建物や観光名所があります。町は区画整備されていて、装飾豊かな建物が多く見られ、特にドナウ川周辺はどこからでも素晴らしい景色が見られます。また市内の数か所に公衆浴場があり、水着を着て入浴できます。オペラはシーズンオフを除いてほぼ毎日上演されていて、日本円で 600 円ほど払えば、十分に良い席で鑑賞できます。その他の演奏会も多くの会場で行われており、とても安い金額で鑑賞できます。町の交通は発達していて、トラムや地下鉄、バスを使って町のあらゆるところに行けます。学生は、日本円にして 1500 円ほどで、市内全ての公共交通機関が利用できる定期券を 1 か月分購入できます。治安はヨーロッパの中でも比較的安全で、時間帯や場所によっては注意が必要な場所もありますが、日ごろから荷物などに気をつけていれば特に問題ありません。気候に関しては、夏は結構暑くなりますが、乾燥しているため湿度による不快感はありません。冬は日照時間が短く、氷点下になることが多いので、十分に対策を取る必要があります。

### ② 注意すべき点

町には飲み屋が多く、夜になると賑わっていますが、中には酔っぱらっている人もいるので気をつけてください。また、大抵の駅には物乞いがいますが、極力関わらないほうがいいです。きっぱり断らないとしつこいので注意してください。他にも、警官のふりをしてパスポートやクレジットカードの情報を盗むニセ警官や、募金を執拗に求める人、売春婦、いたずらするジプシーなどもいますので、海外に慣れるまでは、知らない人に声を掛けられたら、基本的に無視するぐらいがちょうどいいです。ハンガリー以外の国では、バラを突然差し出してきて、受け取ったら金品をせがむ商人や、よそ見をしている人に、絵を踏んだから弁償しろといいがかりをつける絵描きなどに会いました。いずれの場合も未然に防ぐのが一番ですが、絡まれたとしてもきっぱりと拒否すれば諦めてどこかへ去ります。外国は日本ほど安全ではないので、荷物や周囲には常に気をつける必要があります。

### ③ 加入した保険について

学研災付帯海外留学保険に加入しました。

### ④ 滞在先について

物件は、学校から近いのが一番良いですが、ブダペストは交通が発達しているので多少学校からの距離が遠くても、バスやトラム、地下鉄ですぐに通えると思います。一応、物件の治安についても意識する必要があります。物件選びは、信用できる不動産屋さんを留学関係者に紹介してもらうのが一番です。しかし近年はブダペストの土地の価格がどんどん上昇しているので、どんなに安い物件でも月 100,000 フォリント以上の家賃がかかると思います。ピアノは調律師などからレンタルすることができますが、安くても月 20,000 フォリント~かかります。

## ⑤ 留学費用について

150万円あれば自由に外食したり旅行しても問題ない生活ができました。リスト音楽院の場合、授業料は取った授業の数だけかかり、だいたい1ゼメスター20万円前後ぐらいです。参考として、週2回のピアノのレッスンが900ユーロ、室内学が500ユーロです（リスト音楽院の授業料はフォリントではなくユーロです）。ただし、協定校提携があるので10%の割引があります。生活費では、家賃、光熱費、食費、ピアノレンタル代で約180,000フォリントかかりました。冬は冷え込むので光熱費がもう少し増えます。また、今は当時よりも家賃が上がっているのもう少しかかるかもしれません。色々節約をするのなら120万円ほどでも大丈夫だと思います。

## ⑥ 滞在許可（査証）取得について（注意点、苦労したこと等）

ビザは現地の移民局でも申請は可能ですが、言葉の壁や手続きの煩雑さを考慮すると、日本でビザの手続きをすることをおすすめします。私は諸事情で日本での手続きが間に合わず、やむを得ず現地で行いましたが、移民局は非常に混んでいて申し込みにも丸1日かかりました。

## ⑦ その他

音楽を勉強する上で留学はとても良い経験になりますが、どのような形で留学するのか一度よく考えた方がいいです。交換留学は、私のように一度も渡航経験のない人にとって、1年間という期限付きでお試しでき、かつ現地の先生とコネクションを得られる良いシステムですが、それなりにお金はかかりますし、1年時間を費やすことになります。交換留学をした多くの方が、その素晴らしい体験から、再び正規での留学を志すケースが多く、見方を変えれば、入学に年齢制限のある中で1年を費やし、お金も使ってしまうことになるので、場合によっては、交換留学ではなく、むしろ最初から正規で留学したほうがいいかもしれません。あるいは、交換留学を正規留学の入試準備として利用する人もいます。いずれにしても、留学をしたいのならどのような形で留学にするか、その先を視野に入れてよく考えるといいと思いますが、これまでに渡航経験のない方、いきなり正規での留学が心配な方、迷っていたり、興味はあるけれど踏ん切りがつかない、といった方こそ、交換留学をおすすめします。これまでに得られなかった経験があり、視野も大きく広がります。私は交換留学できて本当に良かったと思っています。皆さんにとってもきっと、人生の大きな転機になると思います。